

2010 年 5 月の東北地方の天候

【 5 月の特徴 】

○気温の変動が大きい

○多雨、寡照

(1) 2010 年 5 月の概況

上旬は高気圧におおわれ晴れの日が多かったが、中旬から下旬は低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、月間日照時間は少なかった。気温の変動が大きく、上旬と中旬後半から下旬前半は、南よりの暖かい空気が流れ込んだため気温は平年を大きく上回ったが、中旬前半と下旬後半は、強い寒気が南下したため気温は平年を大きく下回った。11 日から 12 日は日本海や日本の南岸を進んだ低気圧の影響で、また 24 日から 25 日は日本の南岸を進んだ低気圧の影響で、大雨となった。

月平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、高気圧におおわれ晴れの日が多かった。南よりの暖かい空気が流れ込んだため高温となり、6 日には若松で最高気温 33.3℃を観測し、5 月として日最高気温の高い方からの 1 位の値を更新した。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。

中旬：この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。11 日から 12 日は日本海と日本の南岸から東海上を北東に進んだ低気圧の影響で雨となり、大雨となった所があった。低気圧の通過後は期間の中頃にかけて寒気が南下し、低温となったが、期間の後半は南よりの暖かい空気が流れ込んだため高温となった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。

下旬：この期間、低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。期間のはじめと終わりは高気圧におおわれ晴れの日もあった。24 日から 25 日にかけては日本の南岸を北東に進んだ低気圧の影響で東北太平洋側を中心に大雨となり、東北太平洋側では山がけ崩れなどの被害が発生した。24 日には石巻で日降水量 84.5mm を観測し、5 月として日降水量の多い方からの 1 位の値を更新した。気温は、期間のはじめは南よりの暖かい空気が流れ込んだため高温となったが、期間の中頃からは寒気の影響で低温となった。

平均気温は東北北部でかなり低く、東北南部で低い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

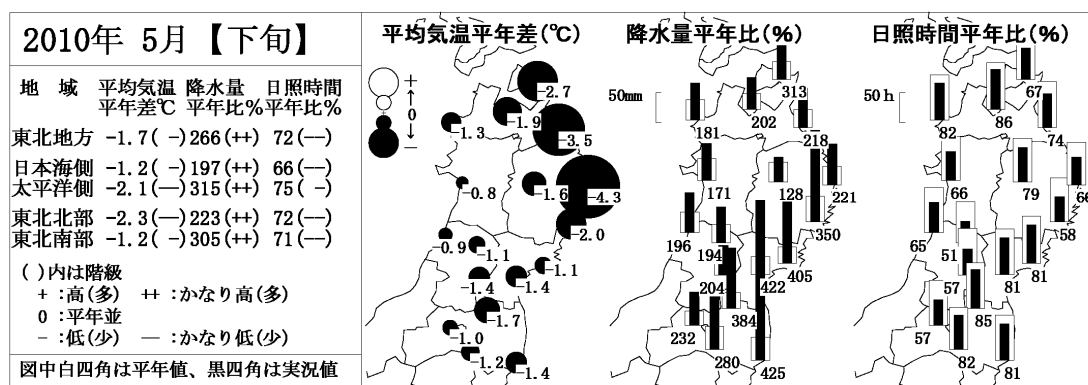
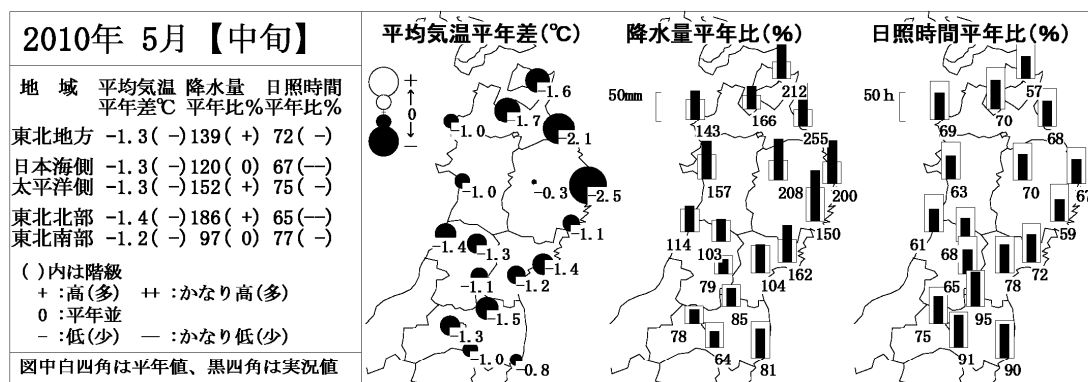
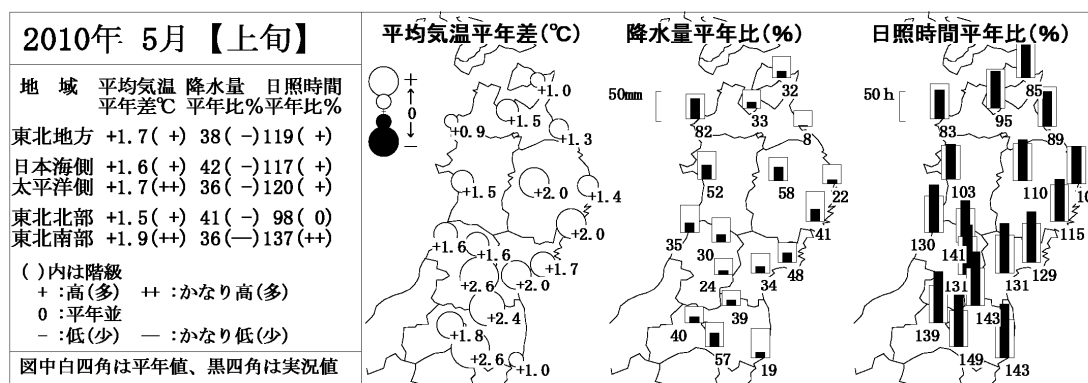
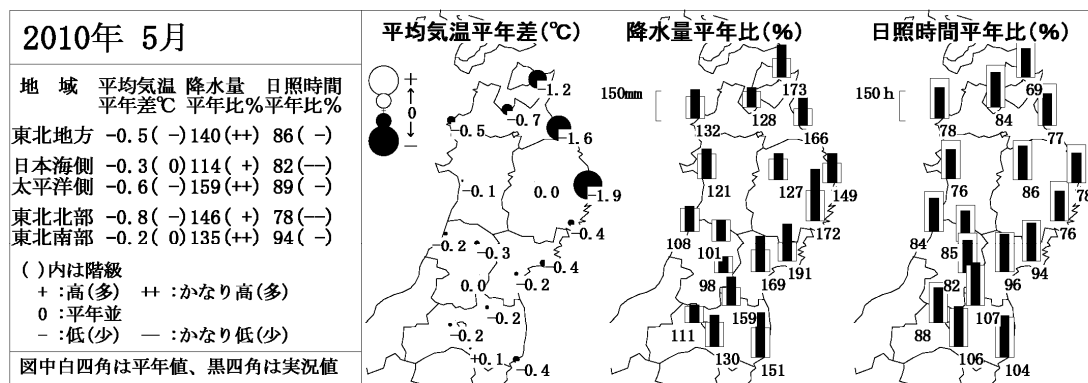
(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。

細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2010年5月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2010 年 5 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	12.4	(-0.7)	—	100.5	(128)	+	12	175.7	(84)	—
深 浦	12.5	(-0.5)	—	143.5	(132)	+	12	154.2	(78)	—*
む つ	10.9	(-1.2)	—	160.0	(173)	+*	12	144.1	(69)	—*
八 戸	11.5	(-1.6)	—	140.5	(166)	+*	12	159.0	(77)	—*
秋 田	14.1	(-0.1)	○	149.0	(121)	+	14	145.7	(76)	—*
盛 岡	13.8	(0.0)	○	131.5	(127)	+	11	168.0	(86)	—
大 船 渡	13.2	(-0.4)	—	258.0	(172)	+	9	149.0	(76)	—*
宮 古	11.2	(-1.9)	—*	146.5	(149)	+	10	148.7	(78)	—*
仙 台	14.7	(-0.2)	○	182.0	(169)	+*	9	190.7	(96)	—
石 巻	13.6	(-0.4)	—	187.5	(191)	+*	9	193.4	(94)	—
山 形	15.4	(0.0)	○	79.5	(98)	○	9	166.1	(82)	—*
新 庄	13.9	(-0.3)	○	108.0	(101)	○	12	152.5	(85)	—
酒 田	14.7	(-0.2)	○	126.0	(108)	○	14	166.8	(84)	—*
福 島	16.3	(-0.2)	○	139.5	(159)	+*	9	211.5	(107)	○
若 松	15.3	(-0.2)	○	89.0	(111)	○	10	174.9	(88)	—
白 河	14.9	(+0.1)	○	156.5	(130)	+	10	199.8	(106)	○
小 名 浜	14.7	(-0.4)	○	221.5	(151)	+*	9	206.0	(104)	○

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

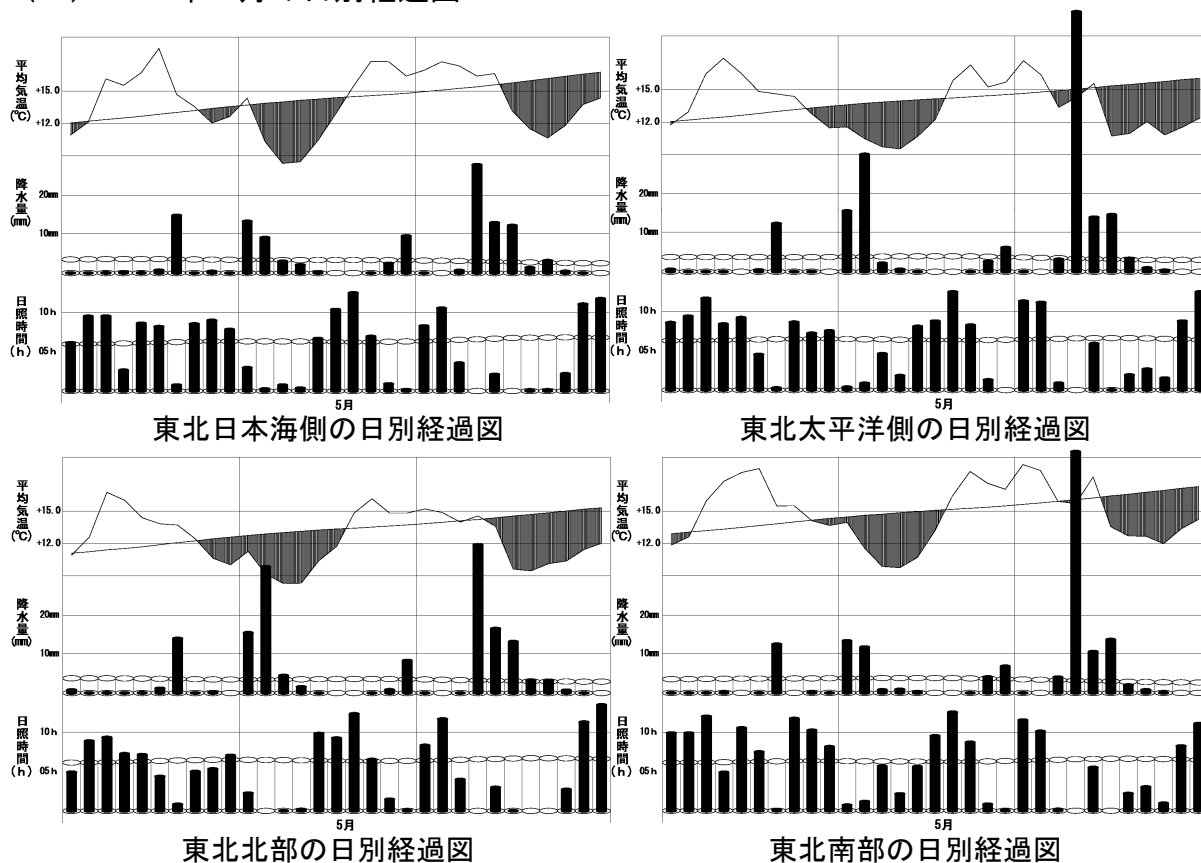
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2010 年 5 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2010 年 5 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

3 位以内はなし

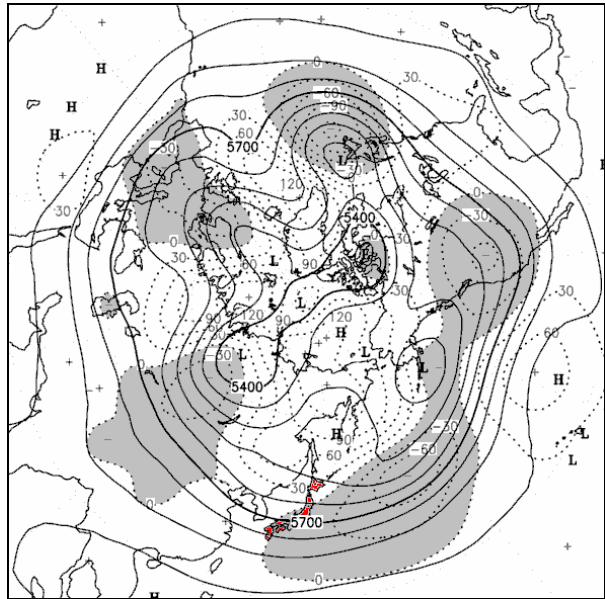
月間日照時間少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

(7) 2010 年 5 月の循環場の特徴

500hPa 高度では、北半球の中緯度帯は正偏差と負偏差が交互に並び、偏西風の蛇行が明瞭だった。極東域では、東シベリアで等高度線が北へ盛り上がり、正偏差が明瞭だった。日本の北では偏西風が南北に分流しており、上空の強い寒気が日本付近に南下する時期があった。また、日本のはるか東を中心に負偏差となっているが、月平均した日本付近の偏差は小さく、気温の高い時期と低い時期があったものの、月平均気温の偏りは大きくなかった。

東北地方は気温の変動が大きく、中旬からは曇りや雨の日が多く、多雨・寡照となった。



2010 年 5 月の平均 500hPa 高度

実線は等高度線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）